

ゆすまいる



目次

1P

新年のあいさつ

2P

ちょっと聞いてや～
～みんなに知っちゃいてもらいたい～

3P
～4P

複合福祉施設 YURURI ゆすはらよりお知らせ

5P
～6P

輝く梶原人！み～つけたっ！

掲示板

Cover's Story





ちょっと聞いてや～

～みんなに知っちゃいてもらいたい～

赤い羽根共同募金 まごころ弁当配食お礼



12月9日(日)各区で知恵を絞った特色のあるお弁当はいかがだったでしょうか？

今年も述べ 200 名を超えるボランティアが集まり、529 食のお弁当をお届けすることができました。早朝から調理や配食をおこなったボランティアの皆様、心より感謝申し上げます。

また、まごころ弁当実行委員会をはじめ、食材・資材をご提供いただきました皆様にも、厚くお礼申し上げます。



生活福祉資金貸付制度(教育支援資金)



教育支援資金は、学費の捻出が困難な低所得世帯の学生に対し、高等学校や大学等への入学に必要な、または在学中に必要な費用を貸付け、その就学や将来の就労を支援する制度です。

＜守秘義務をまもります。＞

1. 就学支度費

- 高等学校や大学等への入学にあたり、学校に納付する入学金等の費用や、入学に際し必ず必要となる制服代等の費用が対象となります。
- 貸付限度額：50万円以内
- 据置期間：卒業後6ヶ月以内
- 償還期間：据置期間経過後20年以内

2. 教育支援費

- 高等学校や大学等の在学中に、学校に納付する授業料等の費用や、在学中に必要な教科書代や実習費等にかかる費用が対象となります。
- 貸付限度額 〈高等学校〉月額35,000円以内 〈高等専門学校〉月額60,000円以内
〈短期大学〉月額60,000円以内 〈大学〉月額60,000円以内

介護福祉士・社会福祉士修学資金

介護福祉士・社会福祉士修学資金等貸付事業は、介護福祉士指定養成施設等または社会福祉士指定養成施設に在学し、介護福祉士又は社会福祉士の資格取得を目指す学生に対する貸付事業です。これらの貸付は、条件により返済が免除になる場合があります。資金不足のために進学を悩まれている方は、お早めに梶原町社会福祉協議会までご相談ください。(審査に時間がかかる場合があります) 担当：山田

呑まない高幡のおきゃく～地域活動交流会～

11月18日(日)に高幡広域社協連絡協議会主催で、ボランティア団体等地域で活発に活動されている須崎市、四万十町、中土佐町、津野町、梶原町の高幡5市町と四万十市の地域の方々約50名が集まり交流会を梶原町にて開催しました。高知県社会福祉協議会の鈴木さんによる講演「つながり・楽しむボランティア地域活動のコツ」を聞いた後に、グループに分かれて日頃の活動や今後してみたい活動等について意見交換し、参加者からは「とても楽しかった」「色々な話が聞けて勉強になったし参考にしたい」「これからも頑張りたい」「今後も交流会を開催してほしい」等といった感想がありました。最後には人間ビンゴをして楽しみ、今後につながる有意義な時間となりました。



新年明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

会長 矢野 豪佑

旧年中は社会福祉協議会の諸活動につきましては、温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。梶原町では、各区を中心として、自助力、公助力、共助力、が1つになり梶原ならではの地域づくりがなされております。私も社協も「地域の福祉力の増進」を使命として、地域づくりの一端を担って参りたいと思っております。昨年4月に事業開始致しました梶原町複合福祉施設「YURURIゆすはら」も、多くの皆様にご利用いただき、デイサービス・ケアハウス・生活支援ハウスのご利用者様、ご家族様をはじめ、地域の皆様のご協力も賜りまして、職員一同、梶原人の優しさに接し、おひとりおひとりの「ゆすライフ」(価値観を大切にし、その人らしい生き方)の支えとなれるよう頑張っております。フィットネスの運動器具やリラクゼーション機器も好評で、更に幅広くご利用いただき健康保持のお役に立てれば幸いです。今後も、町民一人一人が幸福感を感じながら、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように努めて参りますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますように心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成三十一年一月



梶原町複合福祉施設
施設長 芝田 浩之

明けましておめでとうございます。日頃より当施設をご利用の皆様をはじめ、御家族様、地域の皆様等多くの方々にご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。私は、平成31年1月1日付けで、施設長に着任いたしました芝田と申します。私が初めて介護保険に携わったのは、制度が施行されて間もない頃でした。あれから20年経ち、社会背景はめまぐるしく変化しております。町内でも、今まで当たり前前にできていた支え合いの地縁関係が衰退しつつあります。このような地域環境の変化の中で、複合福祉施設の運営を仰せつかり、その職責の重大さに戸惑いつつも、私が祖母の介護体験を通じて感じた、自分の家族の介護を安心して任せられる場所作りを目指して、職員一丸となり努力して参りたいと思っておりますので、町内外の皆様のご指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。





利用者さんと製作した折り紙飾り

デイサービスゆるりだより

デイサービスゆるりでは折り紙を折ったり、脳トレーニングの問題に挑戦しています。また、ご本人に取り組みたい事をお伺いし、季節に合った創作活動なども行っています。

手先の器用な利用者さんがデイサービスで作った折り紙にはまり、自宅で沢山折って持ってきてくださったりもしています。



デイでも石アートを作成してみました



熱心に製作に取り組まれる利用者のみなさん

ケアハウスゆるりだより



ケアハウスゆるりでは、近くの畑をお借りして、玉ねぎの苗を植えました。また、いただいたシブガキの皮を皆さんでむいてもらい干し柿作りに挑戦しています。また、活動量を少しでも増やすために、ラジオ体操や百才体操を取り入れています。懐かしい音楽を流し、皆さんで盛り上がる事もあります。



みんなでお餅つき大会♪

ゆるり 防災便り



今年は防災訓練を5月、10月に実施しました。
5月の訓練では、ご利用者も職員も、まだまだ慣れない環境の中で、安全に避難していただけるように気をつけました。
10月の訓練では、5月の反省点を活かし、安全に、かつ迅速な避難をしていただけるように心がけました。



ご利用者の皆様にご協力いただき、防災訓練を実施する事が出来ました。

10月には栲原高校・栲原こども園との合同避難訓練の実施や、雲の上の図書館との合同避難訓練も実施しました。

災害時には、円滑な協力体制が取れるようにこれからも合同避難訓練を続けていきたいと思えます。

ゆるりが開設して9カ月経ちましたが、まだまだ至らない事が多く、ご迷惑をおかけしますが、これからもご利用者の皆様や、地域の方々に安心してご利用いただける施設にまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



畑仕事の合間にひと休み!



ゲームで真剣勝負!



イノシシの親子☆彡

輝く梶原人！み～つけたっ！！



in 西区

in 四万川区



富山ねんりんピック
大会マスコット
きとときと君

77歳まで勤め上げ、現在は趣味のゲートボールに熱中しているとお元気な楽代さん。ご家族からもゲートボールを推奨されて、ゲートボール道に進まれています。

生きがいはゲートボール

ゲートボールをする前は、田んぼ・カラオケ・釣りもしよった。釣りは本当に好きで、大会で優勝したこともあるけど、船や浮き桟橋に弱いけん・・・今はゲートボールのほかは畑仕事くらい。79歳の時に、友だちに誘われたのがきっかけで、ゲートボールをするのが楽しくて。火・水・金・土とほぼ毎日ゲートボールをしよう。家に1日おることはないねえ～。

(忙しゅうて、グラウンドゴルフもできん 笑) みんなに支えられてやらせてもらいゆう。やっぱりボールが狙ろうたところに当たるのがなんともいえんねえ(笑) 気軽にやると調子がええけん、緊張すると悪うなる。四万川チームとして今年は、町長杯で優勝、雲の上杯で2位、JA杯で3位。ねんりんピック富山大会(全国大会)では、優勝候補チームの入ったリーグになってしもうて1勝2敗・・・けんどのいい思い出になった。今後の目標は、運が良ければ県大会優勝(笑) ゲートボールに出会えたからこそ、今こうして元気でおれると思う。車を運転できるうちは続けたいね。



山本 楽代さん(81)

井高(中井桑)出身
子どもは4人、孫は9人、ひ孫は6人。
趣味に生きる毎日です。

元気の秘密は黒にんにく

娘が健康器具とか健康食品を送ってきゆう・・・でも健康器具は使っていない(笑)。自分で炊飯器を使うて黒にんにくを作って、1日1個は食べゆうことと、ほぼ毎日350mlのビールを飲むのが元気のもとかもしれん。それと、今元気なのは、若い時に苦労したご褒美と思ひよる。



90歳までは・・・

負けず嫌いで、若いときは男の人の仕事を取るくらい(笑) いらん事言わんかったらよかったと思うこともあるけん、みんなにようしてもらいゆう。元気で90歳までは生きたいねえ。



岡林 富恵さん(84)

下西の川出身。1男3女、孫9人、ひ孫10人の幸せが生きがい。その様子を見守ってける為にも健康で元気を心がけている。

繋がってるってえいね～

5年前からおげんき発信をやり始めて、この発信をするという事が生活習慣の一部になっちゆう。せんでようなら寂しいらうね(笑) 最初に声かけてもろうたけ、ばあばら会の仕事(役割)やと思うちゆう。身体障害者連盟にも入会し、声をかけてもろうたら極力参加することにしちゆう。みんなでワイワイバカを言うて集えることが幸せ♡旅行も大好き、最近行ったところといえばJAの年金友の会で富山県の黒部に行っちゃった。黒部はこれで3回目になるけんどの行く度に違う秋の紅葉が見れるけ何回行ってもえいね。地図に行った所通った所に印をつけて行くのも楽しい。



折り紙で作った花瓶と富士山

体を動かすことなら何でもと趣味も多く、竹の藪地域・人柄が大好きという富恵さん。ばあばら会(おばあちゃんらあの会)の会員で竹の藪の婦人会卒業後も地域で輝き続けおられます。そんな日々のつながり、支え合いを紹介したくてお話しを伺いました。

ふんわかばあちゃんの集い

買い物は月・木に移動販売のとくし丸を利用。時間が近づいて来たら友人から決まって電話がかかって来て「今〇〇さんち来ちよったと、あと10分ばあしたら来るよ」と連絡が入る。県道より枝道に少し入ったところに自宅があるためみんなが声を掛けてくれる。朝の散歩も同級生3人で竹の藪をぐるっと一周。この散歩の始まったきっかけはH12に右膝を手術してからリハビリのつもりではじめた。なんの話をしゆういわれてもなんの話をしゆうらうね。忘れた～。

帰って来たら新聞読んで面白そうな番組見つけたら友達に電話をする。コールもだいたい電話に出るまでの行動が目浮かぶけ、ある人には10回コール、ある人には20回、それで電話にでんかったら、今日は病院か?そんな行く言いやあせんかったと思ったら顔を見に行くがよ。この流れが上手い事行かんかったら1日が終わらんね。仲間の一人が弱ったらみんなが弱るのでこれからもお互いに支え合いながらふんわか暮らし続けていきたいな。



ふんわかばあちゃんの集い

Cover's Story

『街でみつけた素敵な絵』

- 場所** 梶原町中町:個人のご自宅前(町内商店街の道路沿い)
- 作者** 高橋美加子さん:高知市在住
- ひとつこと** 母親からのリクエストに答えるかたちで制作をはじめました。



きっかけは、中町にお住いの川上絹恵さんが日吉(鬼北町)の街中で「素敵な絵を書いた瓦」を飾っているところを見て感激したこと。この時撮って帰った写真を娘の美加子さんに見せて「お雛さまを描いてほしい。」「お地蔵様は描けん？」などと希望を伝えると、仕事の合間や連休などを利用して制作してくれたそうです。

画材はもっぱら丸い石や瓦で、アクリル絵の具で書き込んだあと仕上げに色落ち防止のためのアクリルスプレーを塗布しています。

絹恵さんは「近所からたくさん瓦をもらうちゅうけ、みんなで好きな絵を描いて楽しめたらいいねえ。」と笑顔で話されました。

** 今月号の表紙の写真 **

- ① 幸せいっぱいのお神明さん夫婦♡
- ② 神祭にておめかしの森山りあんちゃんと真二さんと美幸さん
- ③ デイはやっぱり楽しい!!と中越利明さん
- ④ あなたの笑顔がみたいです。

寄付のお礼

和田 彌生 様
台風浸水被害の復旧
ボランティア活動に対して

1

2

3

4

